

# 「農林水産業と食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」をめざして



## 農林中央金庫

農林中央金庫は、大正12年9月1日（1923年）に発生した関東大震災後の12月20日に「産業組合中央金庫」として設立され、昭和18年に「農林中央金庫」への改称を経て、令和5年末に100周年を迎えました（図1）。当金庫は、農林水産業の協同組合などを会員としており、大別すると「食農ビジネス」「リテールビジネス」「投資ビジネス」という3つのビジネスを柱としています。これらに加えて、イノベーションやダイバーシティなど、新たな課題に取り組む「コーポレート」の体制のもと、農林水産業をしっかりと支え、食の発展や地域のくらしに貢献することを主な目的に掲げ、金融業務を営んでいます。

今回は、3つのビジネスのなかから「食農ビジネス」について紹介します。

For the next



100th  
NORINCHUKIN

図1 100周年ロゴ モチーフはミレーの「種をまく人」

### 金融機能を超えた付加価値の提供をめざす「食農ビジネス」

#### 「食農ビジネス」とは

当金庫の「食農ビジネス」では、“川上”である生産から、食品に関連する産業（加工・流通・外食など）を経て、“川下”である国内外の消費にいたる食農バリューチェーン全体の付加価値向上に取り組んでいます。

融資や出資はもちろん、担い手の育成、担い手・企業へのコンサルティングやM&Aアドバイザー機能の提供、輸出・海外進出の支援も行っています。「ささえる」



写真1 当金庫営業企画部の執務室  
開放感があり、1区画4人のデスクが並んでおり、毎日自分の好きな席を選べるフリーアドレスとなっています。当金庫では、オフィスに出勤する以外のテレワークも推奨されており、フレックスタイム制も導入されていて多様な働き方が可能となっています。

「つなぐ」「ひろげる」という3つの機能を発揮し、食農バリューチェーンを構成する皆さまから最初に声をかけていただける「ファーストコールバンク」、お客さまとともに成長する「農林水産業と食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」をめざしています。

#### お客さまへの非金融ソリューション(解決策)の提供

当金庫の営業企画部リサーチ&ソリューショングループでは、金融機能だけではなく、お客さまが抱える経営課題などを解決すべく、総合的なソリューションを提供しています。業界および個別企業のお客さまの事業環境などを分析する「リサーチ機能」（調査）と、リサーチの知見を活用してお客さまの企業価値向上などに役立つ提案・実践を行う「ソリューション機能」（解決策）を両翼として、各種サポートを行っています（図2、3）。

#### リサーチにより深みを持たせるためのグループ内シンクタンクの活用

#### 農林中金総合研究所とは

農林中金総合研究所は、農林中央金庫の100%出資子会社であり、農林水産業と食と地域に特化したシンクタンクです。

当研究所は、主に農業、食料、環境、協同組合、金融などに関する調査および研究を行うリサーチ&ソリュー

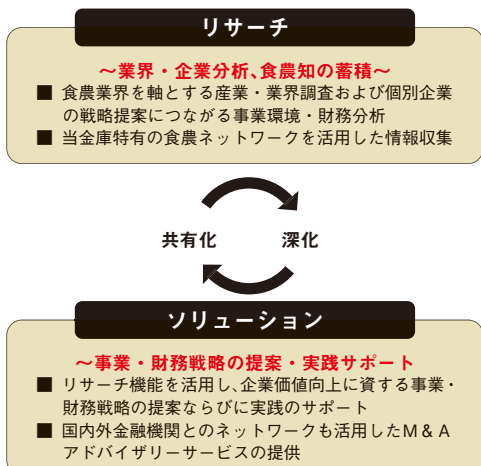


図2 リサーチ&ソリューションのイメージ図  
矢印を回しながら根本的な課題を明らかにしていきます。

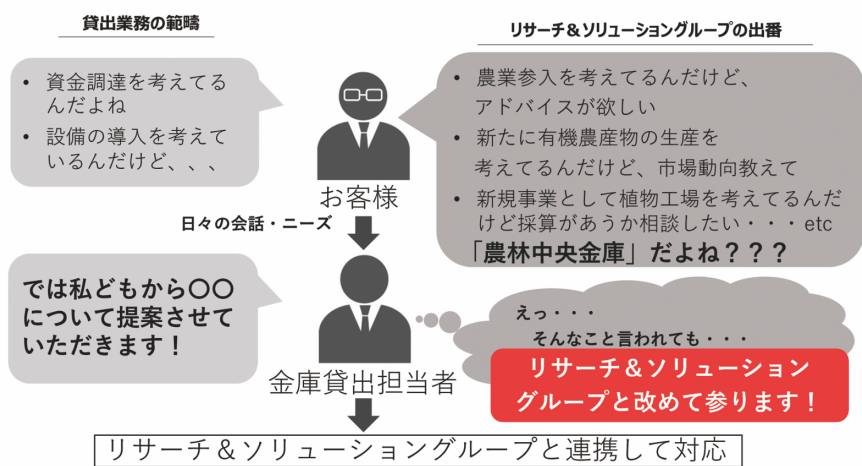


図3 貸出担当者とリサーチ&ソリューショングループとの連携イメージ図  
当金庫の貸出担当者がお客さまとの会話において貸出業務の範疇を越えた相談を受けた場合でも、リサーチ&ソリューショングループと連携して対応を行います。

ション第1部と、農林水産業、食品産業、農業関連産業に関する調査および研究を行うリサーチ&ソリューション第2部によって構成されており、43名の専門家が業種別や品目別の調査レポートなどを作成・提供しています。

## 今後の取り組み

### 非金融業務の拡大と高度化

金融機関の主な業務は、お金を預かり、企業や個人に

貸し出すことです。これらの金融業務に加えて、お客さまが抱える経営課題などの解決策を提案するための引き出しを増やしていくことによって「農林水産業と食と地域に関わる相談は、まずは農林中央金庫に」と言ってもらえるように、全農をはじめとするJAグループと力を合わせてより幅広く、かついっそうの付加価値をもたらせるよう取り進めていきます。

【農林中央金庫 営業企画部 門永章宏】

### コラム1: 多彩な会員

当金庫の会員は、JA（農協）、JF（漁協）、J Forest（森組）およびそれらの連合会など3,277団体（2023年3月31日現在）であることから、食品や農業関係以外にも林業や漁業の話題が飛び交っています。また、「カツオ・マグロ類の家庭内消費状況」などの記事情報が掲載されている新聞「日刊かつおまぐる通信」（図4）にも日常的に触れることができます。

### コラム2: 創立100周年

令和5年は創立100周年事業のひとつである「Myパーパスプロジェクト」の一環として(株)農協観光のボランティア活動の企画である「援農支援隊」に積極的に参加しており、農業現場の収穫作業などを支援しています。「援農支援隊」には、奥理事長をはじめ延べ約600名の職員が参加しています。JAバンクのイメージキャラクターを務めている女優の松下奈緒さんも「援農支援隊」として静岡県でみかん収穫に参加していただきました。

図4 「日刊かつおまぐる通信」